

図画工作科 学習指導案

令和4年2月16日 水曜日 3校時
 小学部 4・5・6年 ばらグループ（知的障害を併せ有する教育課程） 計5人
 指導者 (MT) 苗代 築 (ST) 中村 智子、北島 征明

1 題材名「さんかく さんかく なにできる」

2 題材の目標

- ・目的に合わせて手指を動かしたり、やりたいことを支援者に伝えたりすることができる。（知識・技能）
- ・表したいことを思いつき、自分の見方や感じ方を広げることができる。（思考力・判断力・表現力）
- ・作り出す喜びを感じながら、作品の良さを味わうことができる。（学びに向かう力・人間性）

3 題材の評価規準

	ア 知識・技能	イ 思考・判断・表現	ウ 学びに向かう力・人間性等
題材の評価規準	① 三角形の特性に気付くことができる。 ② 目的に合わせて手指を動かしたり、やりたいことを支援者に伝えたりすることができる。	① 三角形の特性や色から表したいことを思い付くことができる。 ② 自分の見方や感じ方を広げることができる。	① 作り出す喜びを感じ、表現と鑑賞の活動に自ら楽しく取り組むことができる。
学習活動に即した具体的な評価規準	① 三角形の特性に気付いている。 ② 手指を動かしたり、やりたいことを支援者に伝えたりしている。	① 三角形の組み合わせ方を工夫して、身の回りにあるものに見立てたり、模様を作ったりしている。 ② 自分たちの作品から面白さを感じ、言葉や表情で表現している。	① 作り出す喜びを味わい、作品を制作したり見たりして、表現と鑑賞の学習に楽しく取り組もうとしている。

4 児童の実態

本グループは、知的障害を併せ有する教育課程の小学4年から6年の児童で構成されている。これまでの図画工作の授業では、身の回りから三角形や四角形を探す学習や、身の回りの凹凸に紙粘土を押し当てて、凹凸を写し取る学習を行ってきており、児童らは図形に対する興味・関心が高まっている。また、集団での学習に対する意欲が高く、友達のアイディアを模倣したり、作品に対して感想を伝えたりして学び合う様子が様々な学習場面で見られる。

5 題材設定の理由

本学習グループの児童らは、様々な物の形を何かに見立てることができ、他者に考えを言葉で伝えることができる。また、昨年度の算数の授業で角の数を数えて「～角形」と表現することを学んでいる。このような実態から、他教科で学んだことを生かしながら表現活動に取り組み、他者と見方や感じ方を広げることができる本題材を設定した。教材の三角形の色板は、スチレンボードにマグネットシールを貼り、児童にとって安全で持ちやすく、ホワイトボード上で操作しやすいように調整する工夫を行い、児童が安全に活動しやすいようにする。

6 題材の指導計画 (全3時間、本時は第2時)

	学習内容	評価規準
第1時	直角二等辺三角形の色板を組み合わせて、自分の好きな形を作る。	ア-①②
第2時 本時	好きな色の直角二等辺三角形の色板を組み合わせて、自分の好きな形を作る。	イ-① イ-②
第3時	作品にタイトルをつけてキャプションを作り、廊下に展示する。	イ-② ウ-①

7 指導に当たって

「算数・数学科」学習指導要領との関連

<p>○領域 (数量の基礎 ・ 数と計算 ・ 図形 ・ 測定 ・ 変化と関係 ・ データの活用)</p> <p>○段階 (1段階 2段階 3段階)</p> <p>○学習内容</p> <p>・ 5つの直角三角形を組み合わせて、様々な形を作ったり、身の回りにあるものに見立てたりする。</p>
--

8 本時について

(1) 目標

- ・ 三角形の特性を生かして表したいことを思いつき、自分の見方や感じ方を広げることができる。

(2) 展開

過程	活動内容 ◆発問 ◇児童の反応	指導上の留意点	評価
導入 10分	(1) 活動内容の確認 ・ 前回の活動をふりかえる ・ 学習の進め方を知り、学習の見通しをもつ。	・ 前回の活動の写真と、目標、作り方を提示して、活動内容を示す (MT)。	

<p>展開 25分</p>	<p>(2) かたち作り</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 5つの三角形の組み合わせ方を考えて、自分の好きな形を作る。 <p>◆ 「三角が四角になったね」</p> <p>◇ 「～みたいな形になった」</p> <p>◇ 「～色と～色の三角を使おう」</p> <p>◇ 「～さんの形面白い」</p> <p>(3) 作品発表会</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 作品の工夫したことや気に入っているところを発表する。友達の作品に対して感想を伝える。 <p>◆ 『私の作品どうですか』って友達にきいてみよう」</p> <p>◇ 「～さんの形～みたい」</p> <p>◆ 「ひっくり返すと～にも見えるね」</p> <p>◆ 「～だから～色の三角を選んだのですね」</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・ 三角形の組み合わせ方で様々な形や模様に変化することに意識を向けるように言葉掛けをする。 ・ どのように作りたいのか、児童の考えに寄り添いながら、材料の選択や道具の操作などの支援をする。 ・ 児童 AB なるべく一人で制作できるように、言葉掛け等の支援をする。 ・ 児童 CDE 本人のアイデアが形にできるように、手指操作の手添え支援する。手に持つ色板が顔に当たらないように注意する。 ・ 児童の発表や質問、感想の行動や内容を価値づけ、児童間のコミュニケーションに繋げていく。また、作品の良さを伝える。 	<p>イ-① (行動の観察)</p> <p>イ-② (行動の観察)</p>
<p>まとめ 5分</p>	<p>(4) 振り返り</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 本時の学習内容を振り返る。 ・ 次時の学習に見通しをもつ。 	<ul style="list-style-type: none"> ・ 本時の目標の達成に向けた実現状況を確認する。 ・ 次時の活動を伝え、見通しをもたせる。 	

(3) 配置図

